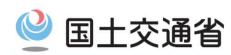
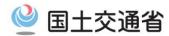
行政事業レビュー公開プロセス 説明資料

【事業名】地理空間情報の活用の推進に係る 総合的課題に関する検討



地理空間(G空間)情報とは



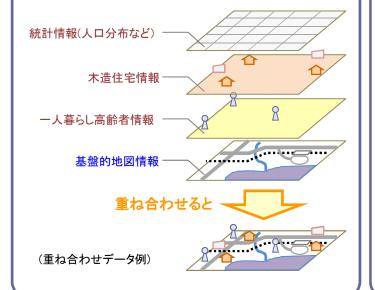
【機密性2】

地理空間情報とは

- 空間上の特定の位置を示す情報やその関連情報のことであり、地形図や都市計画図などの地図データ、 空中写真データ、道路や河川などの台帳データ、人工衛星で観測された車両や携帯電話の位置情報など多様な種類がある。
- ・ 平成19年には地理空間情報活用推進基本法が議員立法により成立し、同法に基づく基本計画が第3期まで策定 されている。

地理情報システム(GIS)とは

様々な地理空間情報を電子地図上で一体的に処理し、各種情報の相互の位置関係の把握やデータ間の関連性の分析などを行い、地理空間情報を高度に活用することを可能とするシステム。



地理空間情報活用推進のこれまでの歩み

平成19年 地理空間情報活用推進基本法の制定

平成20年

地理空間情報活用推進基本計画(第1期)の策定

- ・GISの基礎となる基盤的地図の整備
- ・我が国独自の準天頂衛星「みちびき」の初号機の開発・打ち上げ



平成24年

地理空間情報活用推進基本計画(第2期)の策定

- ・東日本大震災を踏まえた防災・減災への活用の推進
- ・ 準天頂衛星初号機による様々な実証実験
- ・G空間情報センターの位置づけと構築に向けた準備



平成29年

地理空間情報活用推進基本計画(第3期)の策定

- ・準天頂衛星4機体制による高精度測位サービスの提供
- ・G空間情報センターを中核とした共通の情報基盤の構築
- ・東京2020オリパラ大会をG空間社会のショーケースに

G空間情報センターとは



【機密性2】

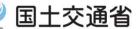
地理空間情報活用推進基本計画(第3期)における位置付け

各主体が整備する地理空間情報を集約し、より一層利用価値の高い情報へ加工・変換して、誰もがいつでも容易に、かつ円滑に検索・入手できる、地理空間情報の流通・利活用の中核としての機能を有する。



新たな産業・サービスの創出

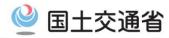
G空間情報センターの主な取扱いデータ総数576セット(2017.5末時点)



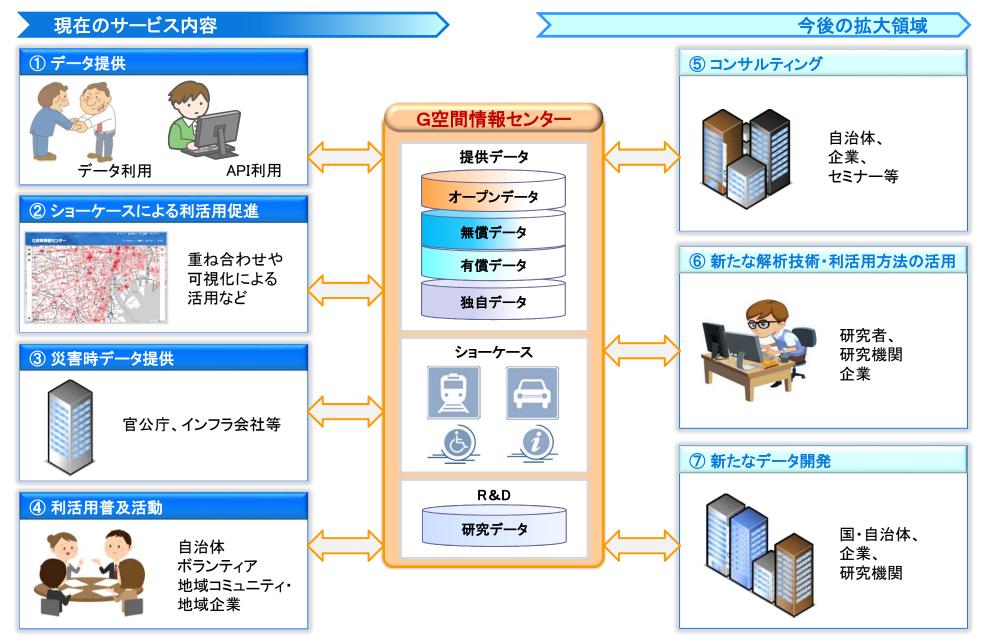
【機密性2】

	分類	主なデータ名称	データ保有者
国-自治体提供	基盤的情報	基盤地図情報, 地球地図, 空中写真, 地理院地図データ, 電子国土基本図, 国土数値情報(行政区域, 鉄道, 公共施設等), 場所情報コード, 大字町丁目/街区レベル位置参照情報, 町丁・大字等境界, 歩行空間ネットワークデータ, 海洋台帳	国交省 総務省
	地形·地質 ·土地分類	地質図, ボーリングデータ, 資源, 地形分類, 国土調査成果(土地分類基本調査, 水基本調査), 国土数値情報(土地利用細分メッシュ他)	国交省, 産総研, JOGMEC
	防災•災害	火山基本図 [*] ,火山土地条件図 [*] , 防災関連情報, 通行止め 中央防災会議, 南海トラフの巨大地震モデル検討会, 首都直下地震モデル検討会のデータ (ゆれやすさマップ等),CS立体図	国交省 内閣府 産総研、静岡県、 長野県
供	気象観測等	ライブカメラ(河川), 河川水位等観測情報, フェーズドアレイ気象データ	国交省, NICT
	環境	自然環境調査, 細密数値情報(10mメッシュ土地利用)**, 植生指標データ	環境省, 国交省
	土地登記等	不動産登記情報及び地図・図面等の情報※, 不動産取引価格情報, 路線価	法務省, 国交省, 国税庁
	統計その他	国勢調査,経済センサス地域メッシュ統計,都市計画基礎調査	総務省, 自治体
民間提供※	動的データ	通行実績データ、走行履歴データ、車載カメラ画像観光統計データ、混雑度データ 流動人ロデータ リンク旅行速度データ	パイオニア ゼンリンデータコム Agoop ナビタイムジャパン
	静的データ	航空写真, 電子地図, 行政界ポリゴン 他 MMS点群データ, リアル3D都市モデル, 赤色立体地図 空中写真(カラー画像), good-3D DSM点群データ 航空写真 航空写真, レーザーデータ	NTT空間情報 アジア航測 朝日航洋 パスコ 国際航業

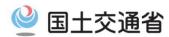
G空間情報センターの主な機能と今後の展開



【機密性2】



①データ提供 - G空間情報センターの主な機能



【機密性2】

センターに登録された様々な種類の地理空間情報は、データの分野、提供者、地域等の属性で管理されており、ユーザーは必要なデータを検索して、素早く容易に入手できる。

データ分類

データの利活用分野などを考慮して、G空間情報センターが独自に分類した属性で管理することで、検索の利便性向上だけでなく、データの利活用の機会創出を図ることができる。

検索・ダウンロード機能

データ提供元や、データの種類、データの属性(タグ)による絞り込みや、キーワード検索もできる。さらに、検索したデータは、ダウンロードしてユーザのGIS上で重ね合わせや可視化などによって様々な用途に活用することもできる。



②ショーケースによる利用促進 - G空間情報センターの主な機能



【機密性2】

センターに登録された複数の地理空間情報の重ね合わせや可視化によってどのような利活用が可能になるか、具体的な例を示すことにより、より多くのユーザーに地理空間情報の活用を促す。



G空間情報センター/ショーケース紹介ページ

大規模イベント当日の人の流れや混雑度を見える化

会場周辺における人の流れ 最寄り駅 (松江駅) 18:00 19:00 19:40

イベント開催時間の前後の人の流れや混雑度を地図上で可視化することで、誘導看板設置場所や宿泊施設等の検討に活かすことが可能。

水郷祭り

開催場所 島根県松江市 花火打上時間 20:00~21:00

来場者数 約43万人(2日間合計)

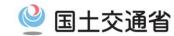
58 - 100 58 - 100 208 - 200 208 - 200 500 - 400 400 - 1000 700 - 1000 700 - 1000 ACIOA 直轄サーム 106

駅構内出入り口の人流

会場周辺の混雑度



③災害時データ提供 - G空間情報センターの主な機能



【機密性2】

大規模災害時に、臨機応変、迅速に被害状況把握等を可能とするデータが扱えるよう 事前にデータ提供者等と災害時協定を締結



G空間情報センター



プルス (大) 一 (大)				
提供データ分類	締結団体(提供データ)			
地図データ	NTT空間情報 ····GEOSPACE			
航空写真 レーザ計測データ	国際航業株式会社 …航空写真、レーザ計測データ株式会社パスコ …航空写真、レーザ計測データアジア航測株式会社…航空写真、レーザ計測データ朝日航洋株式会社 …航空写真、レーザ計測データ			

株式会社Agoop …流動人口データ

二 与 # # #

	データ利用者		
	利用目的	締結団体	
	被害状況把握 地図作成	特定非営利活動法人クライシスマッパーズ・ジャパン オープンストリートマップファウンデーションジャパン(OSMFJ)	
	IT活用 ソフトウェア支援	減災インフォ 一般社団法人 情報支援レスキュ一隊(IT DART) OSGeo財団 日本支部	
	防災教育	大阪市立大学都市防災教育研究センター(CERD)	

災害時のデータ活用のイメージ

南海トラフの巨大地震モデ ルによる震度の最大値の 分布データ

動的データ

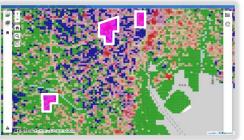


株式会社ナビタイムジャパン …リンク旅行集計データ



マップ機能

G空間情報をWeb地図 上で重ね合わせて閲 覧可能



流動人口データとの組み合わ せにより、地震の発生時間帯 別の細かな滞留人口を想定 でき、より詳細な被災者数の 想定や避難誘導対策などに 活用可能。

流動人口の推計データ

※画像はイメージです